

略画テスト法を用いた工事現場の イメージに関する分析

愛知工業大学工学部 ○ 小池則満*

愛知工業専門学校 深井俊英**

by Norimitsu Koike, Toshihide Fukai

近年、工事現場に対するイメージアップを図る試みがなされ、工事現場についても完成予想図などの様々な掲示板がたてられなど、工夫がなされている。本研究では、工事現場におけるイメージを住民がどのように考えているか、略画テスト法とよばれる手法を用いて調査した。略画テスト法とは、人物画のイラストを用いて会話形式で意見をたずねる方法で、通常の質問方法よりも被験者の本音を引き出せるといわれている。アンケート用紙の配布は、名古屋市内の2小学校区に対して投函配布、郵送回収方式で行った。その結果、工事現場のイメージは決して良好とはいえないこと、特に公共事業の必要性に関する疑問を多く抱かれており、工事掲示板においては、工事の目的や効果を明示することが強く求められていることがわかった。

キーワード：合意形成、略画テスト法、工事現場、イメージアップ

1. はじめに

近年、工事現場に対するイメージアップを図る試みがなされ、カラフルな工事看板や完成予想図の掲示などがなされている現場も増えてきている。こうした工事現場のイメージアップは、公共事業の説明責任（アカウンタビリティ）を果たす手段として、今後重要になっていくと考えられる。しかし、研究事例としては、飯田ら¹⁾によるものがわずかにあるのみで、今後、これらの看板が実際の工事現場のイメージアップにどの程度貢献しているか評価するとともに、どのような掲示が求められているか広く住民の意見を聞く必要があるといえる。

ところで、型にはまらない自由な意見を広く求める調査方法としては、自由記述によるアンケート調査がある。しかし、自由記述式のアンケート調査は、被験者の文章能力にその内容が左右されることや、記入する際に考えなくてはならないわずらわしさなどがしばしば指摘される。また、自己防衛意識により本音が語られない問題もある。そこで本研究では、住民の自由な意見をより広範に効率よく収集する方法として略画テスト法（Picture Frustration Test）²⁾を用いるこ

とを試みる。略画テスト法とは、イラストに吹き出しをつけ、被験者に人物の台詞を記入してもらう形のテストである。心理学分野で用いられている手法の一つであり、画中の人物に、自己を無意識のうちに投影されることから本音を引き出す効果があるといわれる。研究事例としては、難波らによる騒音に関する調査がある³⁾。ここでは、通常の質問形式では受容的な回答をした被験者群の一部が図-1に示すような略画テストではきわめて攻撃的な反発をした事例が紹介されている。また、社会基盤計画学に応用した研究としては、伊藤ら⁴⁾による研究がある。ここでは公園整備の住民

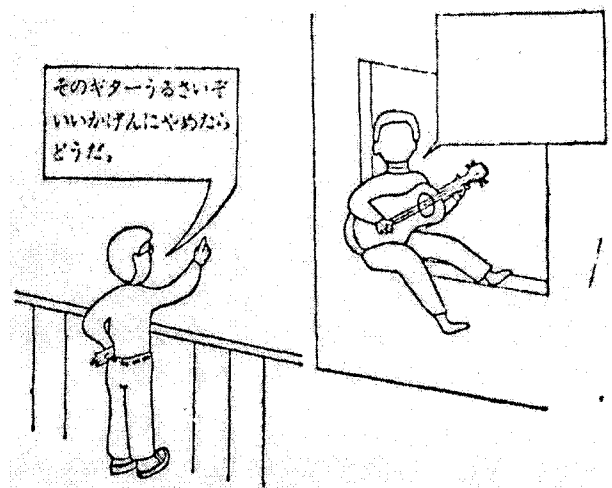


図-1 略画テストの例³⁾

ワークショップにおいて略画テストを用い、住民が不満と考えている点を探り出すことを試みている。このように、略画テストは住民が改善を望んでいるような点についての本音を探ることができると思われ、工事現場のイメージ調査に適用を試みることは意義があると考えられる。

2. 調査方法

(1) 調査対象

調査対象は、名古屋市内の名東区内および天白区内の小学校区とした。それぞれの小学校区に各 1000 部、合計 2000 部を、ポスティング（各住宅の郵便受けにアンケート用紙の入った封筒を投函する方法）によってランダムにアンケート用紙を配布し、郵送回収とした。配布時には、各学区を 4 つの地域に分けることにより、アンケートを均等に、且つ重複して配ることが無いようにした。配布日は、平成 14 年 11 月 27 日である。

(2) アンケート票の作成

略画テストを用いた設問を図-2～4に示す。

1) 工事渋滞に関する質問

図-2のように渋滞中の写真を示し、「道路工事のせいで渋滞しているのかぁ・・・」という台詞に対して、考えられる返答を吹き出しの中に記入していただいた。略画テストは、心理学の分野ではストレスのかかる場面を想定をして、被験者の本音を引き出す手法がとられる。ここでも、工事渋滞というストレスのかかる状況設定を行って、工事現場に対する不満や要望を引き出そうと意図している。

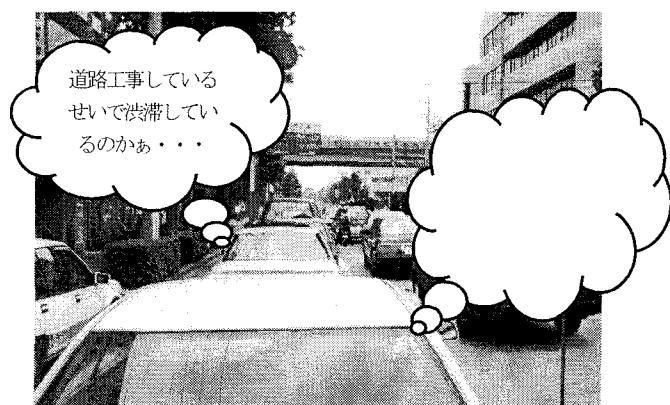


図-2 工事渋滞に関する略画テスト

2) あいさつ文に関する質問

図-3に示すように、工事現場においてよく掲示されている作業員が頭を下げている看板の写真を示し、「このおじさんっていつも謝っているよね。他にどんな表情ができるかな?」という問いかけに対して、右の人物の吹き出し内に回答を記入していただいた。ここでは、迷惑な行為に対して謝る姿に配して、工事現場のイメージや不満を引き出すことを試みている。

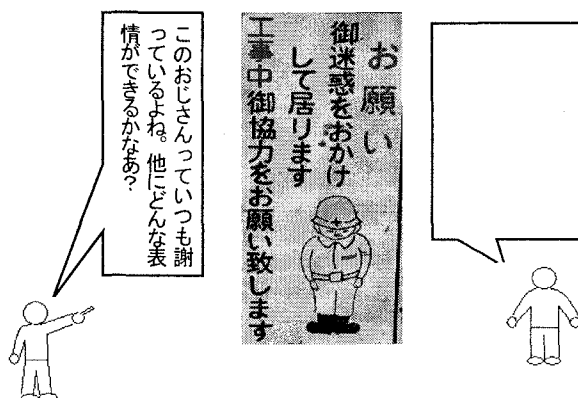


図-3 あいさつ文に関する略画テスト

3) 工事案内板に関する質問

図-4に示すとおり、工事案内板（正式には掲示施設であるが、一般的名称ではないと思われることから「工事案内板」とアンケート用紙内には記述した）を示し、「この看板にどんなことが書いてあるといいと思う?」と新しいアイディアを求める形で、どのような要望があるのか引き出すことを試みた。

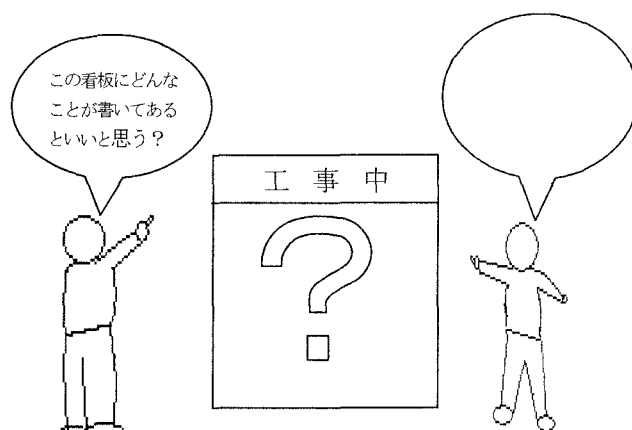


図-4 工事案内板についての略画テスト

(3) 分析方法

心理学テストとしての略画テスト法では、「自責」

「他責」「無責」の3つの方向性に回答が分類されるものとし、文例に基づいて分類、集計、解釈がなされる。本研究においても、各設問において、回答内容の傾向をつかむために、分類、集計を行うと同時に、何がどのように表現されているかを読み取る作業を行って、考察を進めることとする。

なお、通常のアンケート調査では可能な限り客観的な回答を収集し、統計学的な分析ができるように注意が払われるが、略画テスト法は、その性格上、あえて回答者に対して誘導を行い、潜在的な意見を引き出す構成となっている。したがって、略画テスト法では、集計に基づく定量的評価と同時に、回答内容を読み取る作業と合わせた考察を行わないと、解釈を誤るおそれがあるので、注意が必要である。

3. アンケートの回答結果と考察

(1) 回収率

回収数は、両学区併せて 172、そのうち有効回答数 166、有効回収率 8.3%ときわめて低い結果となった。この理由については、フォローアップアンケートの中で検討したので、後述する。また、両学区の意識の差異はほとんど見られなかったので、まとめて結果の考察を進めることとする。

回答者の属性は図-5、6に示すとおりである。性別、年齢構成ともに、おおきな偏りなどは見られない結果となった。

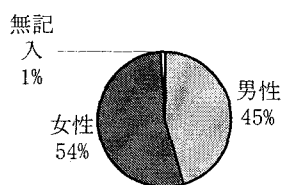


図-5 回答者の属性 (性別)

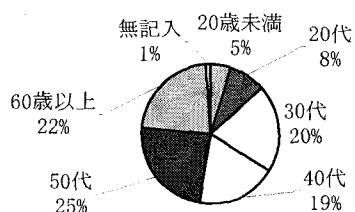


図-6 回答者の属性 (年齢別)

(2) 工事渋滞についての回答結果

まず、工事渋滞に対して強い不満やいらだちを示しているか否かを判断尺度とし、「強い不満」「疑問」「中立」「提案・要求」の4つに分類した。各項目の集計数、項目内容、文例を表-1に示す。

これをみると、「強い不満」「疑問」に分類された回答数が過半数にのぼるが、工事渋滞というストレスのかかる状況設定におけることから、ある意味、当然な結果といえる一方、なんらかの代替案を示した回答が2割程度あることも注目される。これらの回答の傾向から、さらに記述内容や表現について代表的なものを抽出し分類したものが表-2である。なお、重複集計しているため、総数は回答数と一致しない。表-1および表-2を見ると、工事の意義そのものを否定する「無駄使い」や「繰り返し」に関する台詞が多く書き込まれていることがわかる。これらの台詞は、文例1-①～④および2-①～③にみられるように、「また」「いつも」といった「繰り返し」に関わる言葉が、「無駄遣い」などといったマイナスイメージの言葉とともに用いられていることが非常に多く、あちこちで何度も工事を行っており無駄、という印象につながっていることがわかる。「迂回路」および「工事時間の変更」は、一応、工事を行うことに対する不満や反発はあるものの、工事の意義そのものに対する疑問などは向けられていない回答であり、迂回路や渋滞長の揭示(文例1-⑩、2-⑧)、あるいは混まない時間、たとえば夜間工事などを望むもの(文例1-⑩、2-⑨、2-⑩、2-⑪)が多かった。

以上から、工事渋滞から生じる不満は、工事が「いつも」「繰り返し」行われているのではないかと、という疑念の形で表現されていることから、工期短縮のための工夫や道路管理者および企業者間の調整状況について説明するとともに、その上で迂回路の提示など、影響を小さくする対策を行うことが重要であるといえる。

(3) あいさつ文についての回答結果

工事現場で頭を下げている案内板に対する回答結果を表-3に示す。これをみると従来通り「謝る」とした回答内容がもっとも多く見られた。記述内容についても、文例3-①～④にあるように皮肉の混ざった表現が多く見られ、「謝る」と答えた回答群は、工事現場に対してマイナスのイメージを強く持っているといえ

表－１ 工事渋滞に対する不満の程度

	強い不満	不満・疑問	中立	提案・要望
集計	48	42	42	33
内容	工事に対して強い不満やいらだちを表現しているもの	工事に対していらだちを表現しているが、表現がやわらかいもの	工事に対して、特に感想を述べていないものや、あきらめているもの	なんらかの具体的な提案や要望が書かれているもの（工事に対する不満がないわけではない）
文例	1-①また工事か・・・嫌になるよ。 1-②また意味の無い工事しやがって、その金他にまわせ！！ 1-③何度も工事をして予算を使い切るまでやるのかしら？ 1-④いつも工事のせいで渋滞して工事ってめいわく！	1-⑤工事はいつまで続くのかなあ 1-⑥なんとかならんものかなあ 1-⑦相変わらず道路工事渋滞が多いなあ 1-⑧道路工事が終わると便利になるのかなあ。	1-⑨何の工事かな？ 1-⑩他の道にすれば良かった・・・ 1-⑪急ぎの用があるのに困った 1-⑫電車ですればよかったな～！！	1-⑬情報を出せ 1-⑭渋滞する道路の工事は、交通量の少ない時にやっては？ 1-⑮住民問題もあるが出来る限り夜間工事も行い工期の短縮をお願いしたい。 1-⑯迂回路を作ってくればいいのに・・・

表－２ 工事渋滞に対する回答内容の分類

	無駄遣い	繰り返す	迂回路	工事時間の変更
集計	14	33	25	28
内容	工事そのものが無駄だと考えているもの。	工事が同じ場所で繰り返されているのではない、あるいは、同じ時期（年度末）に行われているのではない、という疑問を含むもの	・迂回路に関するコメント。具体的には、迂回路の掲示をもとめるものや、工事が事前にわかっていれば迂回をしたというコメントなどを含む	交通量の少ない時間帯に工事を望むもの
文例	2-①本当に必要なのか・・・もううんざりだよ・・・。 いつもいつも・・・。 2-②また街の為と言うより建設業界の人の為の工事かな？又は予算消化の為の工事かな？ 2-③道路工事のやりすぎだ！！（予算のムダツカイ）	2-④ガスも水道も電気も同時にやればいいのか、何回掘り返しているのか？かなわんな。 2-⑤時間まにあうかなあ？この時期になると、いつもこうだよなあ。	2-⑥他の道にすれば良かった・・・ 2-⑦もっと手前で工事の表示なりガードマンに案内させれば良いのにね！！そうすれば迂回したよね。 2-⑧やってらんない・・・。抜け道ないの??	2-⑨こんな時間にしくなくてもいいのに嫌だなあ。混雑しない時間にしたらいいのに・・・。 2-⑩また工事か！夜間にしろ！ 2-⑪住民問題もあるが出来る限り夜間工事も行い工期の短縮をお願いしたい。

表－３ あいさつ文に関する回答結果

	謝る	笑顔	その他	勘違い
集計	58	37	20	27
内容	今まで通り、謝る、あるいは謝るように要求しているもの	笑う、あるいはなんらかの明るい方向での提案がなされているもの	分類不能なもの	問題の勘違い、あるいは画中の会話が成立していない回答が記載されたもの
文例	3-①あやまるのが仕事だから他の顔はできないんだよ。本当はなんとも思っていないんだ 3-②心から謝ってないよねー。 3-③謝るしかないでしょ。ホントに工事している人は謝る気なんてないからせめて看板だけでもネ。 3-④謝っているのも良いと思うよ。微笑みかけられても困るしね。実際迷惑かけてるし。	3-⑤ニコニコしているのも見たことあるよ。 3-⑥協力に感謝の気持ちを、笑顔で表す。 3-⑦ほのぼのした顔できないかな？	3-⑧ニヒルな顔 3-⑨ほうきを持って掃除している	3-⑩工事終了予定を入れて欲しい 3-⑪協力しますが早くやって下さい 3-⑫何を協力するんだ 渋滞にならない方法を考えたらどうだ。 3-⑬よく見かけるけど沢山ありすぎてかえってインパクトがない。

る。「笑顔」は文例にあるように前向きなイメージを提案する方向の回答群であるが、「謝る」に比べると少なくなかった。「勘違い」は、略画中の人物が「他にどんな表情ができるかなあ」と質問しているのに対して、看板に記載してほしい事項を記入したり（文例3-⑩）、看板中の頭を下げている人物との会話を成立させている（文例3-⑩、⑫）ような回答群である。略画テストは形式が漫画であるために、気軽に記入できる一方で、このような勘違いした回答を生む可能性も高いと思われる、作成においては注意が必要といえる。

以上の通り、「どういう表情ができるか」と、提案を求める設問であったが、前向きな回答よりも、反発的な回答の方が多い結果となった。また、文例3-⑬に指摘されるように、この種の看板が陳腐化している可能性もあることから、現場に立てるあいさつ文のあり方について、記述内容やデザイン全体を再考する必要があると思われる。

（４）工事案内板についての回答結果

工事案内板についての回答結果を、表－４にまとめる。ここでは、複数の内容が記述された回答が多かったため、重複集計している。表－４の上段に記した「工

事名」「期間・時間」「区間」「施工主」「発注者」「連絡先」は、工事案内板にすでに記載されている内容である。この中では、特に「期間・時間」に対する回答が非常に多く、詳細な工事時間（文例4-③）、あるいは区間を合わせて記述するよう求めている例（文例4-④）も多数見られた。したがって、工程表に類するような詳細な情報を掲示することが必要であると考えられる。「イラスト」「工事の目的・意義」は、工事の目的をわかりやすく説明するように求めたものであり、回答数も非常に多かった。文例4-⑪に示すように、公共工事に対する不信感が読み取れる文章も見受けられることから、今後は、発注工事名などをそのまま記載するのではなく、工事の目的や意義を簡潔に記述する必要がある。「予算」は、どのような予算で建設されているかの記載を求めるものである。これについても文例4-⑬にみられるように、工事の目的や意義の説明の一環として求められているように推察される。「お詫び・協力」については、文例4-⑯のように、従来からも多く掲示されている文言が書かれている一方で、文例4-⑰のように「期間・時間」や「工事の目的・意義」と合わせて書いてある場合もあった。「そのほか」については、注意を促すものや迂回路などの表示を求める

表－４ 工事案内板についての回答結果

	工事名	期間・時間	区間	施工主	発注者	連絡先
集計	9	86	8	12	7	16
内容	工事名の記載を求めるもの	工事の期間、あるいは時間の記載を求めるもの	工事区間の記載を求めるもの	施工主や工事担当者の記載を求めるもの	発注者に関する記載を求めるもの	連絡先の記載を求めるもの
文例	4-①工事名	4-②大きな字で期間をハッキリ書いてほしい。 4-③工事の開始を1日の時間で何時に始め何時に終わるか	4-④工事区間や期間が大きく書いてあるといいな	4-⑤何のための工事か、いつまでかかるのか工事者は誰で連絡先はだれか	4-⑥工事内容と期間、発注者と施工主 発注金額があると良いなあ	4-⑦責任者(担当者)の名前と携帯の番号かなあ。苦情はこちらへって
	イラスト	工事の目的・意義		予算	お詫び・協力	そのほか
集計	7	68		5	28	37
内容	イラストを用いた説明を求めるもの	工事の意義や目的、趣旨などの記載をもとめるもの		工事の金額や予算の種類の記載を求めるもの	お詫びの言葉や協力を求める文を求めるもの	他の分類に含まれないもの
文例	4-⑧完成したらどんな風になるか(完成イメージ図) 4-⑨何の工事が明確に。車で通ってもすぐ分かる様にイラストとか	4-⑩どんな工事をしているか書いてあると知識になる 4-⑪いつ終わるのか、何の工事が本当に今やる必要あるの？ 4-⑫どうして工事するのか理由が書いてあるといいね。何の工事でなく何のための工事か		4-⑬何の為の工事か目的を解り易く表示及び工事費用を表示するとよい。ついでに費用を負担する団体等も表示する事。←重要 4-⑭工事代金・その支払元 4-⑮工事に使われている税金の金額	4-⑯ご迷惑をおかけしています。ご協力御願ひ致します。 4-⑰〇〇日までに(頃)〇〇が完成し〇〇に良く(便利に)なりますので、それまでの間よろしくお願ひします。	4-⑱危険ですから中に入らないで下さい。子供は中に入って遊ばないでね。 4-⑲まわりみちの案内

ものである。

以上より、工事案内板においては、工事期間や時間をわかりやすく記述するとともに、発注した工事名をそのまま記載するのではなく、工事の趣旨・目的がよくわかるような工夫をするべきであると考えられる。なお、本問においても、質問を勘違いした回答が数例見られ、たとえばイラスト中に「？」マークが書いてあったためか、「工事期間が書いてあるよ」と、何が書いてあるのかという質問と勘違いした例などが見受け

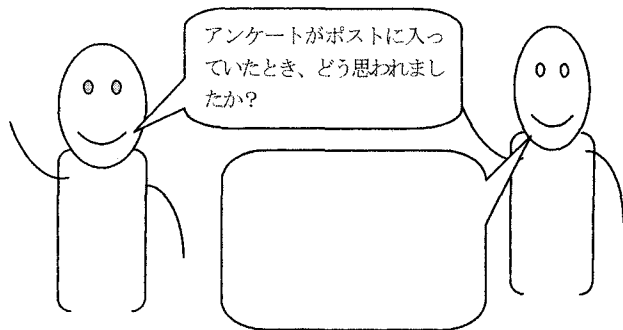


図-7 アンケートが投函されていたときの印象を聞く設問のイラスト

られた。

4. フォローアップアンケートの実施

(1) 目的と実施方法

略画テスト法を用いた住民意識調査を行ったがきわめて低い回収率となったことを述べた。アンケート調査の回収率に関してはさまざまな因子が考えられることから、略画テスト法によるフォローアップアンケート

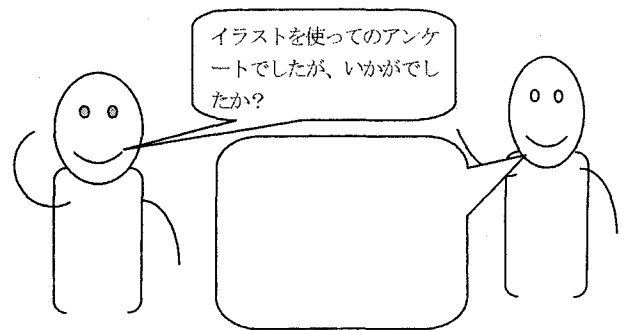


図-8 略画テストに対する印象を聞く設問のイラスト

表-5 投函されていたときの印象についての回答結果

	面倒	疑問	不安・不審	驚き	大学・学生
集計	4	16	6	5	9
内容	アンケートは面倒という意見	アンケートが投函されていたことに対して疑問に感じたが、不安や不審を覚えてはいないもの	疑問よりも、やや強い表現で、不安や不審を覚えたという記述があるもの	驚いたという表現	大学あるいは学校に関する記述があるもの
文例	5-①めんどくさいなあ！ 5-②去年のことなのではっきり覚えてないがでも面倒だなと思ったような気がする	5-③正直、”何これ？”って思いました。でも中を見てみようかなあと考え直して・・・ 5-④何だこれ??	5-⑤びっくりしました。何か怪しげな勧誘からと思いました。 5-⑥最初に封筒を手にしたとき大きな不安と不審感があつた。 5-⑦このぶあつい書類は何だろう・・・とあやしいものかナァと不安でした。	5-⑧ビックリ！しました。 5-⑨この様な活動を知らなかったので少々おどろきました。	5-⑩大学から何の手紙が来たのかな？とちょっと不思議に思った。 5-⑪大学でこんなこともやってるのね。
	興味	理解できない	経験	協力	その他
集計	5	4	5	11	9
内容	アンケートに対し興味を覚えたというもの	アンケートの目的や内容が理解できなかったというもの	以前にも、アンケートが投函されていたことがある、という記述	協力するという記述があるもの	分類に入らないものや、フォローアップアンケートに対する意見が述べられているもの
文例	5-⑫おもしろそうだから答えちゃおう！ 5-⑬家の前で道路工事があり、タイムリーな企画と思いました。	5-⑭貴殿が考えていること迄理解出来ないが何か役にたつのかなァー	5-⑮前にも学生のアンケートが入っていたことがあるので、マッ・またか？と思った・いったいなんだろうと思った。 5-⑯時たまアンケートがあるが大学からは初めてでした。	5-⑰必要なことであれば協力したいと思いました。 5-⑱社会に役立つアンケートならいつでも協力しますよ。	5-⑲あら！？この間のアンケートが不十分な答えだったかしら？ 5-⑳又入っている一中身によって書かないゾー

トを実施し、低回収率の原因を探ることを試みる。調査対象は、返送されたアンケート票に、住所と氏名の記入があった88名を対象とし、郵送配布・回収とした。

質問は、2名の人物を配して吹き出しを設け、会話を完成させる方法とした。図-7に示す質問1では、ポスティングによる調査方法の是非について探ることを目的とし、アンケートが投函されていたときの印象をたずねるものとした。図-8に示す質問2では、略画テスト法についての感想をたずねることを目的としたが、略画テスト法という言葉は一般的ではないため「イラストをつかったアンケート」というたずね方をした。いずれの質問も、背景はなく、色はモノクロである。

(2) 結果と考察

発送した88名のうち55名から返送があり、回収率は62.5%となった。また、すべてのアンケート票に回答が記入しており、有効回答率、記入率ともに100%であった。これは、アンケート票をシンプルな形にしたこと、2度目であったため信用して返送いただいたこと、などが理由として推察される。

まず、アンケートが投函されて居たときの印象を聞いた図-7の設問に対する集計結果を表-5にまとめた。重複集計しているため総数と回収数は一致しない。これをみると、疑問や驚きに関する記述が多いことがわかるが、特に文例5-⑤のように、アンケート調査が勧誘等の目的に利用されるのではないかと警戒したという記述がいくつか見られた。一方で、今回のアンケートテーマに関する記述は文例5-⑬の1件しかなかった。したがって、今回の低回収率の原因としては、

ポスティングというアンケートの方法が受け入れられにくい社会状況となっていることが推察されるところに、市民にとって関心の薄いテーマであったことなどが考えられるといえる。

次に、略画テストの印象についてたずねた結果を表-6にまとめる。これを見ると、返送いただいた方からの結果ではあるが、おおむね抵抗なく受け入れられていることがわかる。文例6-④にもあるように、様々な状況設定を簡単に行えるが略画テスト法の長所であり、工事現場のイメージをたずねる本研究テーマの目的におおむね合致して機能したと思われる。一方で、文例6-⑥にあるように、抵抗を感じたという方も見えることから、今後、様々な場面への適用を行って、略画テストの社会調査としての利用方法について議論を深める必要がある。

5. イメージアップへの提言と今後の課題

本研究では、工事現場のイメージおよび現場での案内掲示等に関する調査を略画テスト法によって行った。本研究の結果から、工事現場のイメージ改善のために考えられることを以下に列挙する。

- 1) 工事渋滞に対しては、工事が繰り返されているという疑念から来る不満が強いことから、道路占用工事に関する企業間の調整を行いつつ事業を進めていることを適切に説明することが望まれる。
- 2) 現場に立てられているあいさつ文に対しては、反発的な記述が多く、必ずしも前向きな印象でとらえられていないと思われることから記述内容の改善が求められる。

表-6 イラストを使ったアンケートへの印象

	良い	悪い	中立・その他
集計	45	3	7
内容	イラストを使ったアンケートに対して好感をもっているもの	イラストを使ったアンケートに対して抵抗を感じたというもの	良かった、あるいは悪かったという意見が両方述べられているものなど
文例	6-①おもしろかったです 6-②普通のアンケートに比べて答えやすいので、これなら返答しても良い。 6-③文字がだらだらとかいてないのでとっても楽しく答えることができました。 6-④面白いユニークな試みだと思った。わかりやすいし場面を想像し易い。	6-⑤案外難しかった。工事の看板のセリフとか頼って自分で考えてみると思いつかなかった・・・ 6-⑥マンガ世代ではない為何とくなくなじまない感じがした。 6-⑦ちょっと漠然としていて回答のイメージがつきにくいものもありました。	6-⑧理解しやすく、記入しやすかったが、いつも考えている訳ではないから、すぐ言葉がでてこない 6-⑨大変わかり易いし答え易いので良かったと思うが、一方で写真やイラストのイメージだけで答えが限定されてくるような気もしました。

3) 工事案内板には、工事期間とともに、工事の目的・趣旨をわかりやすく明確に示すため、記載項目の再検討が必要と考えられる。

以上の通り、本研究では工事現場のイメージに関連する要素の中から、できるだけ一般的でなじみのあると思われる工事渋滞や工事現場に掲示等を取り上げて調査、分析を行ったが、いうまでもなく工事の種類や状況はさまざまである。したがって、今後はより詳細な状況設定や具体的な事業を対象とした調査を行い、改善すべき点について明らかにしていくことが必要である。また、本研究では取り上げなかったが、現場の掲示物には通行者の安全確保を図るという重要な機能がある。これについても、別途、検討が必要であるといえる。

なお、本研究では、心理テストとしての略画テスト法で用いられている方法を参考に分類表を作成し、文例と合わせて考察を進める形をとったが、カウンセリングの現場などでは、様々な方法を組み合わせながら分析を進めるのが普通である。したがって、今後、略

画テスト法から得られる情報を、従来からの様々な調査方法等とどのように組み合わせて社会調査方法として活用していくのか、論を深める必要がある。

(なお本研究は、小池が委嘱された平成14年度(財)名古屋都市センター特別研究員としての研究成果の一部であることを申し添える。)

【参考文献】

- 1) 飯田正範, 和田かおる, 山本幸司; 建設工事現場の総合的なイメージアップに関する一考察, 平成8年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, PP. 627-628, 1997.
- 2) 林勝造編著; P Fスタディ解説書, 三京房, 1987.
- 3) 難波精一郎, 桑野園子, 中井敏枝, 加藤徹: 近隣騒音問題に関するアンケート調査, 日本音響学会誌, 34 巻 10 号, pp. 592-599, 1978.
- 4) 伊藤将司, 柴田貴徳, 青島縮次郎: イメージの集団的共有化によるまちづくり支援手法確立のための基礎的研究, 土木計画学研究・論文集, PP. 29-36, 2000.

Study on aspect of construction filed through picture frustration study

By Norimitsu Koike, Toshihide Fukai

Recently, many kinds of notices are posted in the construction filed for informing the construction project. We try to make clear how people are thinking about construction project and those notices through the picture frustration test (P-F test). The P-F test at the field of psychology is said to be able to survey person's depth thinking. As the result of the survey in Nagoya city, people have no good feeling for the construction scene. The reason of the feeling is the discredit of necessity of construction projects. The construction project should inform people about the purpose and operation through the notice of construction filed and the other opportunity.